

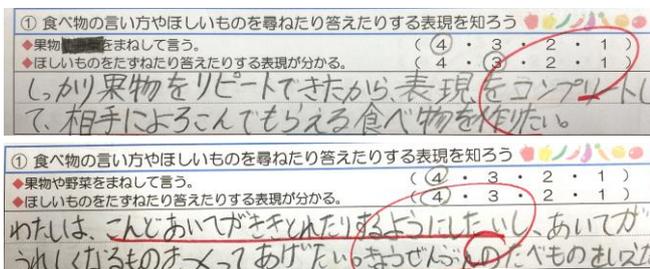
全国小学校英語教育実践研究会 令和2年度 「わたしの英語教育実践」	4年 外国語活動（11月） Let's Try!2 Unit 7 第1時（全5時）
① 外国語活動の授業づくりの工夫（中学年）	岐阜大学教育学部附属小中学校4年担任 千嶋里英

単元のゴールに向かって、自分の考えや気持ちを伝えられるために

1、見通しをもつための単元シートの活用

今学習していることが、単元の出口のどんな姿につながっているのかを理解し、見通しをもって学習に取り組むことが大切だと考えました。そこで、単元の出口の姿と、1時間ごとの学習のねらいを表した単元シートを作成しました。このシートを活用することで、児童は本単元を通して行う学習内容と学習方法を理解し、自己課題や見通しをもって学習を進めていくことができました。

<第1時の児童の振り返り>



第1時では、教師と児童とやり取りをする中で出口の姿を共有しました。また、単元シートを用いて学習の過程や現在の学習状況についても確認を行いました。第1時の振り返りシートには、出口の姿を見通して、「自分はこんなことが伝えられるようになりました。」と学習課題を書くことができました。



2、即興的に伝え合う姿を育むための工夫

自分の考えや気持ち、伝えたい内容等を慣れ親しんだ表現を駆使しながら、目的や場面、状況等に応じて即興的に表現しコミュニケーションを図ろうとすることができるように、Teacher's Time を授業の初めに位置付けました。Teacher's Time では、本時の活動で用いる英語表現を多用したり、児童にとって身近な話題を取り上げたりしながら教師と児童による対話を繰り返し、児童からの日本語による質問に対しては、教師が意図的に既習の英語表現を用いて聞かせました。

本単元では、欲しい食材を尋ねてオリジナルのピザやパフェを作る活動を設定しました。そこでTeacher's Time では、野菜や果物を用いたやり取りや、Do you like○○? What do you like? What do you want? を用いたやり取りを行いました。

T: What's this?
S: It's parfait.
T: Do you like parfait?
S: Yes, I do.
T: What parfait do you like?
S: I like strawberry parfait.
T: Do you like strawberries?
S: Yes, I do. I like strawberries.



T: How are you today?
S: I'm cold.
T: Do you like soup?
S: Yes, I do.
T: What soup do you like?
Do you like tomato soup?
S: Yes, I do. / No, I don't.
T: What soup do you want to eat?



「単元などの内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること」が求められています。そのために、例えば、主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして、自身の学びや変容を自覚できるようにすることが大切です。週1コマしかない外国語活動では、本実践のように、振り返りシートを1枚にして、自身の学習の足跡が見えるようにすることがよいと考えます。また、言葉は、使うことで使えるようになることから、授業では、慣れ親しんだ語句や表現を何度も何度も場面を替え、使う機会を設定したいものです。そのためには、まずは、千嶋教諭のように指導者が、子供が慣れ親しんだ語句や表現を使って子供にとって身近なことを題材にやり取りをすることが大切ですね。(文科省 直山 木綿子)